

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社三菱ケミカルホールディングス（証券コード:4188）

### 【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
発行登録債予備格付	A+

### ■格付事由

- 国内最大の総合化学グループの持株会社。機能商品およびケミカルズは三菱ケミカルが事業主体で、世界トップのMMAなど競争力のある製品を多数手掛ける。産業ガスは大陽日酸が世界4位、ヘルスケアは田辺三菱製薬が国内医療用医薬品で大手の地位にある。グループ全体で成長戦略を進めており、19/3期に大陽日酸が欧州産業ガス事業の買収を行った。また、ヘルスケアのグループ内連携強化に向け、田辺三菱製薬を完全子会社化する予定である。格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 事業環境の悪化で業績は減速感が強まっている。ただ、石化事業の構造改革によって、従前に比べケミカルズの不況抵抗力は増している。ヘルスケアは収益力が低下しているが、高水準の研究開発負担は賄っており、再成長に向けた開発も進展しつつある。広範な技術基盤を背景とする、グループの強固な事業基盤に大きな変化はない。産業ガスの大型買収や田辺三菱製薬の株式公開買付けで財務構成は悪化しているものの、21/3期以降は改善に向かうとJCRでは想定している。以上を総合的に勘案し、格付を据え置き、見通しも安定的とした。
- 20/3期のコア営業利益は2,100億円（前期比33.1%減）と、2期連続で減益の見通し。産業ガスは大幅増益となるが、ヘルスケアは「ジレニア」のロイヤリティ収入の一部収益認識を行わないため、大幅減益を予想する。機能商品は半導体や自動車向け製品の需要減速が響く。また、ケミカルズはMMAの市況下落や設備トラブルなどがマイナス要因となる見込み。事業環境は不透明感が強く、業績の成長軌道への復帰は見通しにくい。ただ、収益源の分散効果で21/3期以降も底堅く推移すると考えられる。
- 産業ガスの大型買収を主因に、ネットDERは18/3期末の0.89倍から19/3期末では1.26倍に上昇した。田辺三菱製薬の完全子会社化で、ネット有利子負債は19/3期末の1.7兆円から2兆円台にまで増加する。このため、20/3期末のネットDERは1.8倍程度にまで上昇するとみられる。ただ、当社では今後3年程度を目途に、同水準を1倍以下にまで改善させる方針としている。事業再構築や資産効率化の取り組みなども通じ、今後、有利子負債を着実に削減していくことが出来るかに注目していく。

（担当） 涛岡 由典・藤田 剛志

### ■格付対象

発行体：株式会社三菱ケミカルホールディングス

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2011年9月12日	2021年9月10日	1.204%	A+
第8回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年6月4日	2020年6月4日	0.948%	A+
第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年6月4日	2023年6月2日	1.226%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 11 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2013 年 12 月 12 日	2020 年 12 月 11 日	0.604%	A+
第 12 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2013 年 12 月 12 日	2023 年 12 月 12 日	0.918%	A+
第 14 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2014 年 6 月 17 日	2021 年 6 月 17 日	0.482%	A+
第 15 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2014 年 6 月 17 日	2024 年 6 月 17 日	0.800%	A+
第 16 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 6 月 4 日	2022 年 6 月 3 日	0.433%	A+
第 17 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 6 月 4 日	2025 年 6 月 4 日	0.755%	A+
第 18 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2015 年 12 月 3 日	2020 年 12 月 3 日	0.281%	A+
第 19 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 12 月 3 日	2022 年 12 月 2 日	0.476%	A+
第 20 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 12 月 3 日	2025 年 12 月 3 日	0.711%	A+
第 21 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 6 月 9 日	2021 年 6 月 9 日	0.120%	A+
第 22 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 6 月 9 日	2026 年 6 月 9 日	0.320%	A+
第 23 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2016 年 6 月 9 日	2036 年 6 月 9 日	0.850%	A+
第 24 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2018 年 2 月 27 日	2028 年 2 月 25 日	0.370%	A+
第 25 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2018 年 2 月 27 日	2038 年 2 月 26 日	0.890%	A+
第 26 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120 億円	2018 年 12 月 19 日	2028 年 12 月 19 日	0.420%	A+
第 27 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80 億円	2018 年 12 月 19 日	2038 年 12 月 17 日	1.000%	A+
第 28 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2018 年 12 月 19 日	2048 年 12 月 18 日	1.388%	A+
第 29 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2019 年 5 月 30 日	2029 年 5 月 30 日	0.330%	A+
第 30 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120 億円	2019 年 5 月 30 日	2039 年 5 月 30 日	0.830%	A+
第 31 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80 億円	2019 年 5 月 30 日	2049 年 5 月 28 日	1.214%	A+
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	4,000 億円	2018 年 9 月 8 日から 2 年間		A+	

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2020 年 2 月 12 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典  
主任格付アナリスト：湊岡 由典
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「化学」（2012 年 3 月 26 日）、「持株会社の格付方法」（2015 年 1 月 26 日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003 年 7 月 1 日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 株式会社三菱ケミカルホールディングス
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。

**7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：**

- ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
- ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明

**8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：**

JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。

**9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし**

**■ 留意事項**

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

**■ 用語解説**

**予備格付：**予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

**■ NRSRO 登録状況**

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

**■ 本件に関するお問い合わせ先**

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル